

井上貴至地方創生統括監 副町長に就任



副町長
井上 貴至 (29)

地方創生の推進を担当する副町長を新たに選任するため、平成27年第2回長島町議会定例会で、長島町副町長の定数を2人に改正する条例改正案が可決されました。

これに伴い、6月23日の最終本会議に、井上貴至地方創生統括監を副町長に選任する追加議案を上げし、全会一致で同意されました。

本年4月1日に総務省から本町へ派遣された井上氏は、地方創生関連担当の副町長として、7月1日から、長島町の地方創生のさらなる推進を図ります。

先の議会において、全会一致で副町長に同意いただきました。副町長の職責を受け止め、全力で地方創生に取り組みます。

さて、長島町の地方創生には3つの柱がございます。

1つ目が、町の基幹産業である農業・水産業のブランドづくりと食や絶景を生かした交流人口の拡大です。

2つ目が、長島を支え、育てる人材の育成です。

3つ目が、子育てしやすい環境の整備です。

町民の皆さまと一緒に、外の皆さまの力も最大限生かして、全国最先端の地方創生を進めていきたいです。

副町長室はいつでも誰でもウエルカムです。全国のお菓子等も用意しておりますので気軽に遊びに来てください。

また、現場こそが課題解決の鍵。ご希望があれば、私も皆さまのところに伺います。引き続き何とぞよろしくお願いたします。

地元期成会を代表して意見発表

「島原・天草・長島架橋構想」・「九州西岸軸構想」推進地方大会

6月13日、長崎県島原市で「島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会」が開催され、長崎県・熊本県・鹿児島県から約500人が参加しました。

この大会は、九州西岸地域の一体的発展はもとより、九州全体の浮揚にも資する重要なプロジェクトである両構想の一層の推進を図るため、関係機関・経済団体・地元関係者が一堂に会し、必要性をアピールする大会です。

大会の中で川添健町長は鹿児島県地元期成会を代表して意見発表をしました。

町長は、三県架橋の実現による空港や新幹線利用の時間短縮、災害時の緊急避難道路としての必要性、各地域のイベント等への交流人口の増加による経済効果の期待などを発表し、有料道路としての三県架橋建設を提案しました。



↑意見を発表する川添町長